

あかぎだより



あかぎだより
QRコード

発行責任者
赤木地域公民館
館長 柳沼 正志
郡山市赤木町7-19
TEL/FAX 924-0293
令和2年12月発行
NO.99

些 細 な こ と で も

赤木地域公民館長 柳沼 正志

立场上、いろいろな場面であいさつをお願いされることが多く、そのたび話題さがしに苦労していました。とりわけ、学校現場にいたころは「〇〇先生のお話」というものが付き物で、これには正直なところ参りました。そこで苦肉の策とでも言いましょうか、新聞や雑誌、テレビ・何でもいいので「これは使える!」と思った文章やセリフをメモしておくことにしたのです。これは結構効果的でした。おすすめできます。

という訳で、最近見つけたことばをいくつか紹介しましょう。

「他人から見れば取るに足らないことでもいい。一生かけて守り続ければ、自分にとって大きな力になる。」

(「些細なつらめき」幸田 文)

「大災害に有効なのはサンダーバード的な巨大組織によるトップダウンの対応でなく、地域の草の根的な活動だと思う。」

(毎日新聞 令和2年1月17日)

昨年台風による大きな被害を被った当地域にとっては考えさせられることばです。地域が抱える問題や課題は多様で、どれも一朝一夕に解決できるものではありませんが、一見些細なことに見る取り組みが地域の人とのつながりを強め、結果的に減災につながっていく。確かにその通りで、その累積は大きな強みとなるでしょうけれど・・・

さて、ただでさえ混とんとした世の中にコロナ禍が追い打ちをかけ、「ステイホーム」や「新しい生活様式」などのことばがすっかり定着してしまいました。厳しい状況が続いていますが、いつも見える顔がいつも見える・・・これも些細なことかもしれませんが、些細なことでは人は安心していただけることもあるのです。来年こそはよい年になりますように。



赤木地域市民文化祭において発表会と表彰式

～「赤木地区少年少女の主張作文発表会」「標語川柳コンクール」～

「令和2年度赤木地区少年少女の主張発表大会」並びに「標語コンクール」の表彰が10月31日(土)赤木地域公民館で行われました。当日は赤木地区市民文化祭の初日でもあり、ステージ上の赤木神社の神輿2台が舞台を華やかに飾りました。また、学校生活に関することや社会問題等についての発表は、小中学生らしい視点で表現力も豊かであり、どれも力作でした。

作文審査の間、会場では「標語コンクール」の表彰式が行われました。今年のテーマは「笑顔」。多数の応募作品の中から小中学生の部から6点、一般の部から5点選ばれ、市に推薦されることとなります。



村上会長、圓谷審査委員長とともに記念撮影(作文)



神輿といっしょに作文発表



武田委員長とともに記念撮影(標語)



公民館タイムライン～活動報告～

9月から11月までの主な活動を報告します



9月26日(土)
チャレンジ講座
で外国人を「おもてなし」。二本松の歴史を共に学びました。



9月29日(火)
市民学級では点だけで絵を描く「点描画」に挑戦し、作品を文化祭に展示しました。

10月8日(木)
あかぎの広場バス研修です。今年度は野口記念館、恵日寺、小平瀧天満宮でした。品竹先生の語りも健在です。



10月10日(木)
粹成浩児さんを招いてミニコンサートを実施。得意のビートルズヒットメドレーはさすがでした。



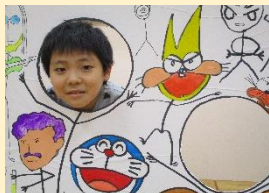
10月24日(土)
月一回のペースで「うごいてガッテン」が始まりました。みんなで運動不足を解消しましょう。



11月14日(土)
チャレンジ講座の筋力トレーニングです。この写真はちょっとハードに見えますね。

10月31日～11月8日

赤木地区市民文化祭を開催しました。残念ながら芸能部門は実施できませんでしたが、赤木神社神輿実物の展示をはじめ、子どもたちや公民館クラブ等の多数の作品を展示できました。ご協力ありがとうございました。文化祭の様子等は赤木地域公民館 web ページでご覧になれます。下の QR コードをスマホ等のカメラ機能で読み込んでください。



行事予定

- 好評！うごいてガッテン 全 10:30-11:30
12月10日 1月11日 2月15日
- 市民学校「そこが知りたい郡山の歴史」
1月8日、15日、22日、29日
2月5日
全5回 毎金曜日 10:00～12:00
申込締切 12月21日 赤木地域公民館窓口へ
- 赤木ジュニアスクール
12月25日 書道教室
1月23日 「凧を作ろう」
- あかぎの広場 12月17日のみ中止です。
- チャレンジ講座 予定通り行います。
- ◆会場は全て赤木地域公民館です。

☎ 024(924)0293